



2026年3月期(85期)第1四半期
決算説明資料

2025年7月31日

石井食品株式会社
(東証スタンダード:2894)

イシイの
本気は、
裏に出る。

80周年施策やECサイト好調で増収、コスト高及び積極投資継続も増益で進捗

当期は、雇用・所得環境の改善などにより景気の緩やかな回復が期待されますが、物価上昇の長期化による影響で消費者の節約志向は依然として根強く、個人消費の本格的な回復には至っておりません。また資源・エネルギーコスト・物流費等の製造コストは高止まりないしさらなる高騰が見込まれるなど、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、第1四半期は2025年3月に実施した価格改定後の売り場確保に注力するとともに、創業80周年を記念して、お客さま・お取引先・サプライヤーへの感謝の意を込めて企画した各種施策を実施した結果、売上高は堅調に推移いたしました。

また、常温商品群においても、昨年販売を開始した「いつでもミートボール」をはじめとして、ECサイトや新たな販路での開拓・市場認知が進み、順調に伸長しております。

コスト面につきましては、依然としてエネルギーコストや物流費の高騰は続いておりますが、価格改定による原価率の改善、効率化施策の進展、当初予想に比して高騰の影響が限定的であったことなどから、当初見込みの範囲内で推移しております。また、成長のための生産設備・新規事業への投資は計画的に進めており、第1四半期時点では増収増益で進捗しております。

2026年3月期第1四半期-連結業績

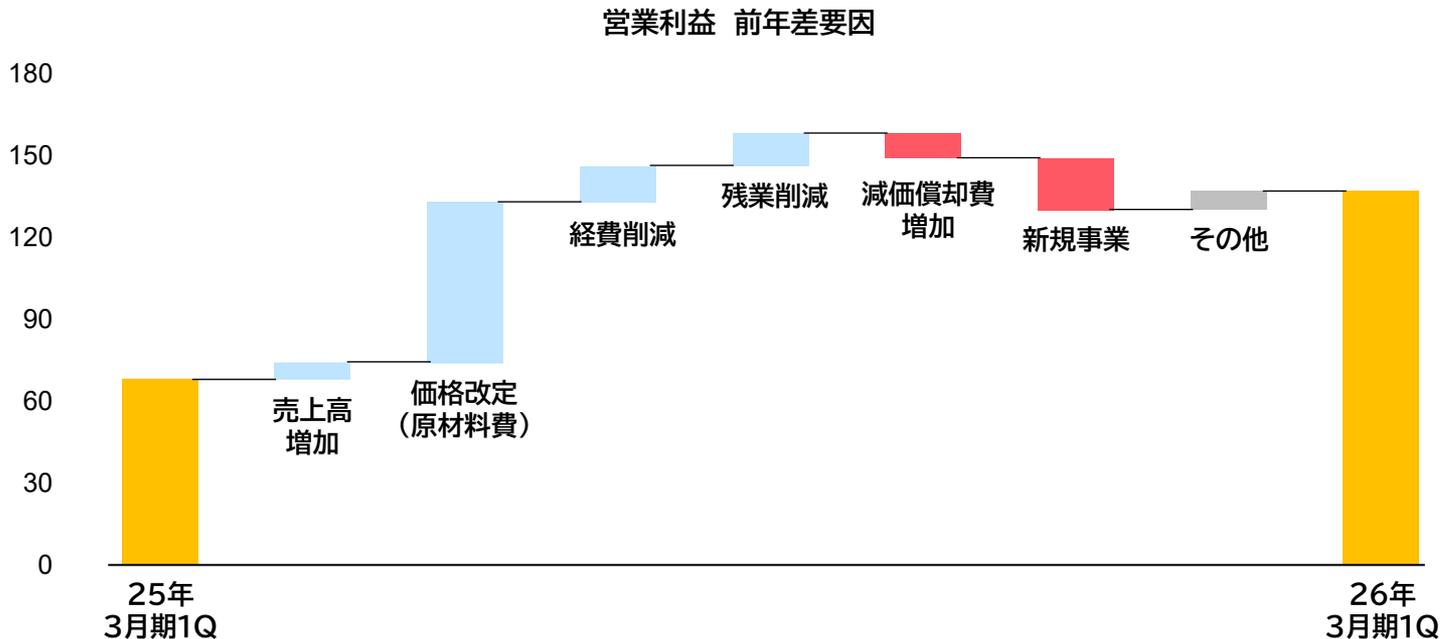
- (1) 売上高は27億円で、前年同期比0.1億円の増収。
- (2) 営業利益は1.3億円で、前年同期比0.6億円の増益。
- (3) 当期純利益は0.7億円。EBITDAは2.3億円を確保。

(単位:百万円)

	24/3期1Q	25/3期1Q	26/3期1Q	前差
売上高	2,613	2,718	2,728	+10
売上総利益	950	910	986	+76
営業利益	235	68	137	+68
経常利益	247	74	135	+61
当期純利益	173	15	75	+60
EBITDA	283	157	236	+78

2026年3月期第1四半期-営業利益

- (1) 前年同期の営業利益0.6億円から、今期は1.3億円と0.6億円の増益。
- (2) 価格改定後の売り場確保やECサイト好調により売上高は増加。
- (3) 2025年3月に実施した価格改定による利益率の改善とともに、生産性向上に取り組みコストも低減。
- (4) 設備の更新投資及びソフトウェアの導入による減価償却費の増加、新規事業への投資は計画的に進行中。



2026年3月期第1四半期-財務状況

(1) 現預金は20億円超を安定的に確保。

(2) 純資産は約1.3億円増加。自己資本比率は前年同期比較で+6.4ptの48.3%に上昇。

(単位:百万円)

	25/3期1Q	26/3期1Q	前差
現預金等	2,276	2,176	△99
資産合計	8,196	7,962	△234
有利子負債	1,991	1,987	△3
負債合計	4,759	4,114	△644
流動比率	111.3%	118.6%	+7.4%
純資産合計	3,437	3,848	+129
自己資本比率	41.9%	48.3%	+6.4%

2026年3月期第1四半期の活動トピックス

6月21日に「イシイの株主ミーティング」を実施。午前・午後の2部構成で来場者は300名を超え、盛況。

- 議決権行使にあたっての情報の充実化を図るため、株主総会に先立って業績や議案の内容を伝えるイベントを本社で実施。
- 業績だけでなく、各工場での取り組みや地域との関わり、無添加調理の裏側を各執行役員がプレゼン。
- 講演のほかにスタンプラリーやおせちの試食提供など、家族連れでも楽しめるコンテンツを展開。



本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料(業績予想を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいて弊社が作成したものでありますが、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なることが起こります。